

3類型	農林水産物	通巻番号	1 - 19 - 015
地域資源名	たもぎ茸	認定日	平成19年10月12日
地域	北海道南幌町	所管省庁	農林水産省 経済産業省

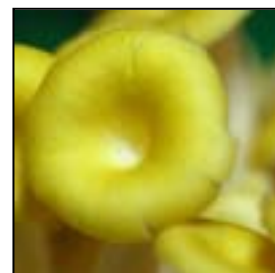
事業名: たもぎ茸由来のグルコシルセラミドによる化粧品の開発

会社名: 株式会社 スリービー
 連絡先: TEL: 011-378-2273
 FAX: 011-378-2174

所在地: 空知郡南幌町元町1丁目1番1号
 H P: <http://www.three-b.co.jp/about/index.html>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・南幌町は、我が国屈指のたもぎ茸の産地である。
- ・しかし、生食用たもぎ茸の需要変動は大きく、生産企業は付加価値の高い商品開発に取り組むことが課題であった。
- ・当社は、生食用たもぎ茸からグルコシルセラミド(以下、セラミド)を抽出することに適した方法・抽出装置を開発した。
- ・本事業では、生食用たもぎ茸から抽出したセラミドを発酵技術を用いて量産し、それを原材料に化粧品を開発・販売することで、売上高1億3,800万円を目指す。



【たもぎ茸】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・たもぎ茸由来のセラミドは、米ぬか由来のセラミドと比較して保湿性と抗アトピー性等に優れている。
- ・この効用に関して、特許出願中である(特願2006-137006「皮膚保湿剤および皮膚炎治療剤」出願人(株)スリービー)。

市場性

- ・美容に対する関心が若い女性のみならず、男性や熟年層にまで拡大している中、化粧品素材としてコラーゲン、ヒアルロン酸と並んでセラミドが注目されている。
- ・セラミドの原料ベース市場規模は3.8億円(1999年)から13.5億円(2005年)と急速に成長している市場である。

販路

- ・セラミドを用いた化粧品は医療機関・ドラッグストア等に対して販路を開拓する。また、量産化されたセラミドはメーカー・医薬品市場等に対して販路を開拓する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・産業廃棄物として処理されている廃菌床と規格外キノコ等について、道内茸生産者と連携し、たもぎ茸由来のセラミドを量産する発酵原料として確保する。



【たもぎ茸の生産風景】



【たもぎ茸由来のセラミド粉末】